

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人名古屋市中区社会福祉協議会

I 第5次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2024」の推進

令和6年度から令和10年度を計画期間とする第5次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2024」を推進するため、住民参画のもと、4つの基本計画、8つの実施項目に基づいた取り組みを実施しました。

また、推進委員会を開催し、進捗状況の確認等の進行管理を行いました。

部会等	実施回数	主な協議内容（基本計画）
推進委員会	1回	・推進委員長と副委員長の選任 ・令和6年度の実施項目ごとの取り組み状況と今後の推進方針について
ともいく（共育）部会	4回	・多様な人々や社会的障壁を理解し思いやる意識づくり ・ボッチャを通した多様な当事者との交流の場づくり ・ボランティア活動を始めるきっかけづくり ・ボランティア活動の情報収集と発信 ・バリアフリー推進活動の取り組み方針の検討

1 基本理念

「住みつづけたいまち天白」をめざして ※第1次計画から継続

2 基本目標

困りごとを抱えた人を地域住民と相談支援機関が連携・協働して受け止め、支えあえる地域づくり

3 基本計画・実施項目

[基本計画1]

学区における、ちょっとした生活の困りごとを住民同士で解決する仕組みの拡充

【実施項目1】ちょっとした困りごとを住民同士で解決する相談窓口を増やす

- ・ 現在、7学区で実施されている「地域支えあい事業」の実施学区増をめざし、地域福祉推進協議会定例会や学区連絡協議会定例会での事業説明等、4学区への働きかけを行いました。
- ・ 地域支えあい事業を本会情報紙ぱわわ74号で紹介するとともに、本会ホームページを実施学区の取り組みが分かるように改良することで、事業の認知度向上に努めました。

【実施項目2】学区における生活支援活動の充実

- ・ 「地域支えあい事業」の活動の活性化やニーズの掘り起こしのためのPRグッズとして、冷蔵庫等に貼ることができるマグネットシートを作成し、実施学区に配付しました。
- ・ 民生委員児童委員の協力を得て、訪問活動時にマグネットシートを手渡ししていただくことで、必要な方に情報を届ける取り組みを行いました。

[基本計画 2]

人々の多様性を尊重し、思いやりの行動がとれる地域・人づくり

【実施項目 3】多様な人々の存在に気づき、考える機会づくり

- ・ 障がいがある人もない人も「いっしょに楽しむ！ポッチャ交流会」を開催（令和7年1月25日）しました。開催にあたっては、「ともいく部会」をはじめ、生涯学習センター、ふれ愛ネット天白、名古屋市障害者スポーツセンター、パラスポーツ指導員と連携・協働しました。

【実施項目 4】ともに生きるための社会的障壁（バリア）をなくそう

- ・ 学習会として、「事業者に求められる障がいのある方への合理的配慮とは？～その範囲と対応方法についてハード・ソフトの両面から学ぶ～」を開催（令和6年8月28日）しました。

【実施項目 5】ボランティア活動のきっかけづくり

- ・ ボランティア活動の裾野を広げ、タイムリーな活動紹介を行うために、ジャンル別に整理したボランティア活動情報一覧、区民が参加できるボランティア養成講座情報を収集し、ジャンル別に整理した一覧を作成し、活用しました。
- ・ 「みんなの元気フェスタ in てんぱく2024」において、出張ボランティア展を開催しました。
- ・ ボランティアニーズへの対応状況を分析し、ボランティアセンターの活性化を考えるための基礎資料をまとめました。

[基本計画 3]

情報弱者へ情報を届ける仕組みづくり

【実施項目 6】情報弱者へ情報を届ける仕組みづくり

- ・ 「きずなネット」の活用に向けて、モデル学区を3学区（高坂、表山、八事東）選定し、試行実施を開始しました。
- ・ 「シニア向け つながる。楽デジフェスタ in てんぱく」に「きずなネット」の体験ブースを出展しました。

[基本計画 4]

複合的な生活課題を抱えた住民に対する多様な支援機関の連携強化と社会参加の促進

【実施項目 7】多様な支援機関による協議の場づくり

- ・ タイムリーに多機関が協議できる環境整備として、重層的支援会議を設置するとともに、事例ごとの支援会議やケース会議を開催しました。
- ・ 専門機関の相互理解を深める機会づくりのために、地域包括ケア研修会を開催（令和6年9月13日、令和7年3月12日）しました。
- ・ 包括的相談支援チームが様々な事例に対応する中で、対応の過程を記録し、チーム内での事例共有を行いました。

【実施項目 8】社会参加に向けたファーストステップ

- ・ 名古屋市住宅供給公社と連携して、市営一つ山荘に、つながりづくりの拠点「一つ山すてっぷる～む」を開設しました。また、利用者増に向けて、地域住民や相談支援機関職員に拠点を知っていただく機会として、拠点周知イベント（開放日）を企画・実施しました。
- ・ 相談支援機関等の様々な機関の参加を得た「参加支援プロジェクト」を設置し、社会から孤立している方に寄り添った活動メニューについて検討しました。

Ⅱ 重層的支援体制整備事業の受託

名古屋市社会福祉協議会とのコンソーシアム（なごや・天白地域共生のまちづくりコンソーシアム）として令和５年１０月に名古屋市から事業を受託し、令和６年４月から本格実施しました。

複雑、複合的な課題を抱える世帯で既存の相談窓口の連携だけでは対応が困難な場合に、多機関協働による個別支援をはじめ、支援につながっていない方へのアウトリーチ、社会とのつながりが希薄な方に対する参加支援を実施しました。

○ケース対応実績【令和６年４月～令和７年３月】

【プランあり（終結ケース含む）】

区分	対応 ケース 数	回数					
		本人		家族		関係機関等	
		電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談
多機関協働	６件	108回	17回	29回	13回	420回	39回
アウトリーチ	10件	239回	93回	112回	20回	379回	154回
参加支援	２件	21回	40回	０回	１回	42回	14回
計	18件	368回	150回	141回	34回	841回	207回

【プランなし（終結ケース含む）】

区分	対応 ケース 数	回数					
		本人		家族		関係機関等	
		電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談
その他	52件	377回	160回	111回	27回	659回	272回

また、参加支援においては、市営一つ山荘内に、つながりづくりの拠点「一つ山すてっぷる～む」を開設、運営しました。

【一つ山すてっぷる～むの概要】

○開所日時：毎週火・金曜日 10:00～15:00（祝日、年末年始を除く）

○場 所：市営一つ山荘東 T-1 棟 101 号

○実施内容：ひとりひとりのやりたいことやペースに合わせて、オーダーメイドのプログラムを作成し、実施（例：ゲーム、調理、作品づくり等）

○開所実績（令和６年４月３０日（オープン日）～令和７年３月末）

区分	回数	ケース対象者		地域住民 (延べ人数)
		延べ人数	実人数	
定期開催分（毎週火・金曜日）	91回	36名	2名	168名
随時開催分（イベント開催）	3回	2名	2名	6名
計	94回	38名		174名

Ⅲ 継続事業の推進

1 地域福祉推進協議会（推進協）関連

(1) 推進協の活性化

各学区に設置されている地域福祉推進協議会の活動を支援するために、学区担当職員（コミュニティワーカー）を配置し、運営の相談・援助・必要経費の一部の助成を行いました。

会長・担当者事務説明会

開催日	令和7年2月28日(金)
内 容	・植田東学区地域福祉活動計画検討会について ・令和6年度実績報告について ・令和7年度助成金申請について 等
参加者	36名

(2) 活動内容への支援

① 推進協活動経費の助成

17学区の地域福祉推進協議会に活動経費の一部を助成しました。

【令和6年度助成額】 5,600,000円

(各学区の主な実施事業)

学区名	ふれあいいきいきサロン	内、子育てサロン	ふれあいネットワーク活動	福祉学習会等	健康体操等	地域支えあい事業
平針南	○	○	○	○		○
平針	○	○	○	○	○	
平針北	○	○			○	○
原	○	○				
植田	○	○				
植田南	○	○			○	
植田北	○	○				
植田東	○	○		○		
大坪	○	○				
八事東	○	○		○		○
表山	○	○		○		○
天白	○	○				
山根	○	○	○	○	○	○
しまだ	○	○		○	○	○
高坂	○	○	○	○	○	○
相生	○	○	○	○		
野並	○	○				

② ふれあい給食サービス事業への助成・支援

高齢者等が一堂に会して食事をする会食事業と高齢者等の自宅に食事を配達する配食事業に実施回数および平均参加者数に応じた助成金を交付しました。

【令和6年度助成額】 1, 774, 000円

学区名	会食	配食
平針南	○	
平針北	○	
原	○	
植田	○	
植田南	○	
植田北	○	
大坪	○	
八事東	○	
天白	○	
山根	○	
しまだ	○	○
高坂	○	○
相生	○	
野並	○	

2 ふれあい・交流イベント関連

(1) ふれあい・交流の場づくり

「ふれ愛ネット天白」との共同事業として、福祉やボランティアを身近に感じていただき、区の福祉や地域力の向上につなげることを目的として開催する「第38回天白区福社区民のつどい」に向けて、区内のボランティア団体や福祉事業所等が参加する実行委員会の事務局を務め、幹事会を1回、実行委員会を3回開催しました。しかし、同時開催の「まつり天白2024」が衆議院議員総選挙投開票日との重複により急きょ開催中止が決定されたため、「第38回天白区福社区民のつどい」も中止しました。

(2) 福祉活動者のつながるための場づくり

・ふれ愛ネット天白への支援

ボランティアや当事者団体、福祉施設などで組織されている「ふれ愛ネット天白」の運営と事業を支援しました。

部会	目的	活動内容
ふれあい部会	会員相互の交流・連携を深め、会員のスキルアップを目指す部会	風船バレー交流会（10月5日（土）研修室） ふれ愛なべ交流会 （3月22日（土）天白公園）
PR部会	区民に対して情報発信を行うとともに、会員相互の情報交換を目指す部会	・情報紙「ぱわわ」への情報掲載（第74号、第75号） ・マスコットキャラクターにこっちの活用

3 地域活動支援関連

(1) 地域団体及び当事者団体への助成(赤い羽根共同募金助成金)

事業名	金額	助成先等
子育て・子ども支援関係	989,079 円	子ども会連合会、学童保育、子ども文庫 等
障がい関係	310,000 円	手をつなぐ育成会 等
地域福祉関係	3,465,000 円	17 学区推進協
福祉団体関係	200,000 円	区戦没者遺族会、区シニアクラブ連合会、区保護司会、区更生保護女性会 等

【助成総額】 4,964,079 円

(2) その他の助成(本州建設特別助成金)

天白区ブックスタート事業への助成を行いました。

4 ボランティア関連

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する総合窓口として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動に関する相談や活動の調整、情報の提供、保険の受付を行いました。

①ボランティアニード対応状況

対応完了件数	対応状況		
	登録ボラ調整	その他調整	対応不可(依頼取り下げ含む)
110 件	98 件	11 件	1 件

②ボランティア登録状況

ボランティア登録	個人	137 名
	団体	134 団体(2,765 名)

(2) ボランティア活動の企画・実施

①点字教室の開催

視覚障がい者の重要な情報手段である点字についての理解を広げるとともに、活動者を養成するため、ボランティアグループ「みなづき会」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】①6月13日(木) ②6月20日(木) 全2回講座

【参加者】①5名 ②4名

② 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座の開催

視覚障がい者の外出支援を行うガイドボランティアについての理解を広げるとともに、活動者を養成するため、ボランティアグループ「天白わかば」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】①11月6日(水) ②11月13日(水) 全2回講座

【参加者】①4名 ②4名

③ 車いすボランティア養成講座の開催

車いす利用者や使用方法の理解を広げるとともに、学校や地域における福祉教育での活動者の養成を行うため、車いすボランティアグループ「はなぐるま」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】 8月8日（木）

【参加者】 6名

④ シーン・ボイスガイド付き映画上映会の開催

シーン・ボイスガイドについての理解を深めることを目的に、ボランティアグループ「ボイス・ケイン天白」と共催でガイド付きの映画上映会を開催しました。

	第1回	第2回
開催日	令和6年8月4日(日)	令和7年3月2日(日)
会場	天白区在宅サービスセンター研修室	
参加者	35名	40名
タイトル	「銀河鉄道の父」	「パリタクシー」

(3) 既存のボランティアのスキルアップ

①ボランティアの組織化・機能化

福祉教育における学習サポートを行うボランティアグループの機能促進のために、定例会を開催しました。

- ・車いすボランティアはなぐるま 年6回
- ・エルダーコンシェルジュきんもくせい 年10回

②災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

(防災ボランティアグループ「天白でいぷり」協力)

発災時に備え、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を名城大学で関係機関や地域住民、学生と協働して開催しました。

【テーマ】・「講義：能登半島地震支援から学ぶ、災害ボランティアセンターに期待される役割と課題について」

・「災害ボランティアセンター模擬運営訓練」

【開催時期】 11月17日(日)

【開催場所】 名城大学 11号館

【参加者】 33名

5 福祉情報関連

(1) 地域の福祉情報紙「ぱわわ」の発行

本会の知名度向上と区民の福祉への関心を高めることを目的に、区内の福祉情報を提供する情報紙「ぱわわ」を年2回発行しました。

【発行月】 74号(9月)、75号(3月)

【発行部数】 74号 56,500部／75号 56,200部

【配布先】 中日新聞折り込み及びポスティングによる各戸配布、本会窓口、天白区内公所、福祉施設、コミュニティセンターなどでの配布。

(2) ホームページの運営

社協活動を区民に広く知ってもらうとともに、リアルタイムにボランティア活動情報や福祉イベント情報を提供しました。

【HPアドレス】 <http://www.tenpaku-shakyo.com>

6 財源関連

(1) 会員及び賛助会員の募集・拡充

会 員(会費免除団体除く)		賛助会員	
区政協力委員会	17団体	個人会員	360件 410口
民生委員児童委員協議会	17団体	法人・団体会員	17件 33口
社会福祉施設	22施設		
社会福祉関係団体	8団体		
ボランティア活動団体	7団体		
地域関係団体	5団体		
76件 170,000円		377件 575,000円	

(2) 赤い羽根共同募金への協力

	実 績 額
赤い羽根共同募金運動(10月1日～12月31日)	7,303,850円
歳末たすけあい運動(12月1日～12月31日)	694,997円

○赤い羽根協賛書道・ポスター作品展

【期間及び場所】 11月2日(土)～11月10日(日)

天白図書館展示スペース

【応募総数】 書道22校 116点 ポスター19校 85点

○啓発活動

・街頭募金

【地下鉄植田・原駅・平針駅前】10月1日(火) 24,278円

区政協力委員及び民生委員児童委員を中心にご協力いただきました。

・イベント募金実績額 82,761円

学区のまつり、イベント等で募金活動を行いました。

(3) 寄附金・寄贈品の受入れ

	寄附金	寄贈品
件 数	13件	0件
金 額	821,630円	—

<拠点区分による助成金支出内訳>

項目／拠点区分	法人運営	共同募金配分金	合 計
地域福祉推進協議会事業	3,260,000 円	2,340,000 円	5,600,000 円
ふれあい給食事業	649,000 円	1,125,000 円	1,774,000 円
地域支えあい事業	1,116,727 円	0 円	1,116,727 円
サロン運営事業	1,817,000 円	0 円	1,817,000 円
高齢、障がい、子育て支援等	0 円	1,499,079 円	1,499,079 円
ブックスタート事業	4,500 円	0 円	4,500 円
合 計	6,847,227 円	4,964,079 円	11,811,306 円

IV 受託事業

1 高齢者はつらつ長寿推進事業

65 歳以上の高齢者を対象に健康体操やレクリエーションなどを通じ、介護予防や仲間づくりを行う「高齢者はつらつ長寿推進事業」を地域や学校、ボランティアの協力を得ながら区内 8 か所で実施しました。

曜日	AM PM	実施会場	前期			後期		
			延べ回数	実参加者数※1	延べ参加者数	延べ回数	実参加者数※2	延べ参加者数
月	AM	在宅サービスセンター	20 回	22 名	368 名	21 回	22 名	406 名
	PM	植田南コミセン	19 回	22 名	369 名	21 回	22 名	421 名
水	AM	大坪コミセン	23 回	11 名	188 名	25 回	15 名	294 名
	PM	おおね荘 第 3 集会所	23 回	22 名	374 名	25 回	19 名	371 名
木	AM	平針南コミセン	23 回	22 名	460 名	24 回	22 名	466 名
	PM	山根コミセン	23 回	22 名	409 名	23 回	18 名	362 名
金	AM	野並コミセン	21 回	20 名	339 名	25 回	20 名	386 名
	PM	高坂荘 第 2 集会所	22 回	22 名	409 名	25 回	22 名	446 名

※1・・・9 月末時点

※2・・・3 月末時点

2 名古屋市地域支えあい事業

生活の困りごとを抱えた方に対し、近隣住民同士でちょっとした手助けを行う生活支援や、ひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動等を7学区で実施しました。

学区	表山	高坂	山根	しまだ	平針南	平針北	八事東
登録ボランティア数	88名	120名	135名	132名	235名	47名	103名
活動延人数	465名	2,627名	3,667名	1,908名	2,891名	294名	378名
ボランティアポイント数※	2,182P	8,300P	4,957P	6,857P	10,785P	1,594P	1,691P
認定事業数	7事業	13事業	7事業	6事業	11事業	5事業	4事業
生活支援事業	お助けマン事業	おたすけ高坂	やまねお助け隊	ちょボラお助け隊	お助け活動	ちょこつとボランティア平北	ちょこつとボランティアやごひが
生活支援利用登録者数	49名	30名	87名	51名	68名	9名	10名

※1ポイント10円で換算し、翌年度実施主体の各学区推進協へ還元

3 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の実施する生活福祉資金貸付事業の相談や、償還指導の窓口として運営に協力しました。

資金の種類		相談件数	貸付件数	金額
総合支援資金	生活支援費	128件	0件	0円
	住宅入居費	10件	0件	0円
	一時生活再建費	7件	0件	0円
福祉資金	福祉費	100件	10件	2,116,000円
	緊急小口資金	302件	8件	575,000円
教育支援資金		39件	6件	15,463,000円
不動産担保型生活資金		10件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0円
合計		596件	24件	18,154,000円

4 名古屋市緊急小口資金償還事務

名古屋市緊急小口資金貸付事業の貸付金の償還事務を行いました。

償還金額	0円
貸付中件数	1件(令和7年3月末現在)

5 名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業

(1) ふれあい・いきいきサロンの設置・運営支援

新規サロンに対し開設助成を、実施サロンに運営助成を行いました。

開設助成 【助成団体】 2団体 【助成決定額】 85,701円
 運営助成 上半期 【助成団体】 22団体 【助成決定額】 849,000円
 下半期 【助成団体】 25団体 【助成決定額】 968,000円

(2) 生活支援部会（協議体）の運営

天白区での地域包括ケアシステムの構築を図るため「生活支援部会」を地域包括ケアの作業部会に位置づけ、その事務局を運営しました。

① 部会の開催

7月4日（木）、11月7日（木）、1月30日（木）【計3回】

② 取り組み内容

支援を必要としている高齢者が既存の社会資源を活用できるよう、まずは地域に暮らす元気な高齢者（支援が必要な高齢者の身近な人）へ情報提供するしくみについて協議しました。また、「わたしの応援ノート」の普及啓発を行いました。

V 関係機関との連携・協力

1 学校関係

区民の福祉意識の向上やボランティア活動への関心を高めることを目的に、学校での福祉教育の振興・福祉体験活動を支援しました。学校や地域に対して手話や点訳、アイマスク、車いす、高齢者擬似体験などのプログラムを提案し、講師やボランティアの調整、講演会、資材の貸出を行いました。

対象	学校数	体験件数*	延べ人数
小学校	10校	15件	1,163名
中学校	0校	0件	0名
養護学校	0校	0件	0名
高等学校	0校	0件	0名
専門学校	1校	6件	200名
合計	11校	21件	1,363名

*体験件数の種類別

体験の種類	合計	内 訳
車いす	5件	植田小、たかしま小、平針南小、専門学校2回
アイマスク	4件	相生小、植田小、表山小、野並小、
高齢者疑似	6件	植田小、大坪小、原小、山根小、専門学校2回
点字	1件	山根小
手話	2件	植田小、専門学校
その他	3件	植田北小、たかしま小、専門学校
合計	21件	

2 行政関係

生活困窮者に対する応急的援助

被保護者や要援護者の緊急不測の事態に対し、区役所民生子ども課と連携し、応急的に資金の貸付を行うことで、自立更生意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に、事業を行いました。

【実績】133件

3 NPO法人

本会とコンソーシアムを構成する認定NPO法人たすけあい名古屋が、指定管理者として実施する天白福祉会館の管理・運営業務に協力しました。

4 各種団体

(1) 天白区障害者自立支援連絡協議会への協力

授産製品の販売（マーガレットマルシェ）や福祉施設の職員などを対象とした研修会、障がい者の作品展などの企画や運営に協力しました。

(2) 天白区子育て支援ネットワーク連絡会への協力

地域における子育て支援関係者のネットワーク連絡会に参加しました。

VI 施設の管理・運営

1 在宅サービスセンター

区社協の事務所がある原ターミナルビルの同フロアを活用し、在宅福祉サービスと地域における福祉活動を総合的に推進するための拠点として「在宅サービスセンター」を運営しました。

(1) 在宅サービスセンター施設利用状況

部屋	延べ利用団体数	利用者数
研修室	344団体	5,134名
ボランティア室	277団体	2,344名
点訳室	72団体	275名
録音室	62団体	359名

(2) 車いすの貸出

一時的に車いすの使用が必要になった方の生活支援や、教育機関等における福祉教育の推進を目的に、貸し出しをしました。

一般貸出	116件
教育機関、地域団体等	11件

(3) ボッチャの貸出

区内で地域福祉の推進活動を行っている団体・ボランティアグループや、区内の学校、福祉施設などに貸し出しをしました。

グループ・団体	27件
教育機関・福祉施設	0件
社協事業	13件

2 天白児童館（地域子育て支援拠点）

認定NPO法人たすけあい名古屋とのコンソーシアムによる指定管理者として、名古屋市天白児童館を管理・運営し、児童の健全育成や子育て支援を行いました。

(1) 子ども育成事業

遊びを通して子どもたちの心身の健やかな育成を図り、情操を豊かにする季節・文化などの事業を実施しました。

子どもが主体となり企画・運営する子どものまち事業としてなつまつりを実施しました。また、中高生が集い自主的に活動する場や機会を提供する中高生の居場所づくり事業“中高生のJI・KAN”(金曜日、44回、延べ347名)を実施しました。

(2) 子育て支援事業

年齢に応じた子育て支援を充実し、より多くの親子が楽しめる事業を実施しました。また、親育ちにつながる「親支援講座」「離乳食を学ぼう」を実施しました。

事業名	開催数	参加人数
親子体育(1歳10カ月以上の幼児と保護者)	25回	393名
歌育*リトミック(1歳以上の幼児と保護者)	17回	473名
おやこであそぼ!(1歳以上の幼児と保護者)	18回	318名
絵本であそぼう(乳幼児と保護者)	11回	160名
ちびもも(0・1歳児と保護者)	3回	27名
ちびっこ体操(0・1歳児と保護者)	11回	257名
屋内遊園(乳幼児と保護者)	14回	208名
おひさまルーム(0歳児と保護者)&(1歳児と保護者)	2回	48名
あかちゃんタイム(0歳児と保護者)	9回	194名
離乳食を学ぼう(乳幼児と保護者)	4回	54名
親支援講座(乳幼児と保護者) *連続3回講座	3回	29名
元気なお口を育てよう(0歳児と保護者)	1回	15名
「名古屋のびのび子育てサポート事業」説明会(生後57日~小6までの保護者)	2回	9名
おやこでたのしいクリスマスコンサート(乳幼児と保護者) 学習センターとの共催	1回	112名
ちびっこなつまつり(1歳以上の幼児と保護者)	1回	42名
節分あそびをしよう!(1歳以上の幼児と保護者)	1回	40名
ママのための骨盤調整ヨガ(妊婦、生後2カ月~未就園児の母親)	4回	77名
東海学園大学のお兄さん・お姉さんと遊ぼう!(6ヵ月から3歳児と保護者)	1回	17名
パパと運動しよう!(就園児と父親)	1回	36名

(3) クラブ活動

将棋クラブ始め小学生を対象とした4クラブを実施し、異年齢や他学区の児童との交流を促進しました。

ク ラ ブ			定員	在籍数	開催数	参加人数
将 棋	通年		1 6名	2 1名	1 5回	2 1 9名
卓 球	通年		1 2名	1 6名	1 5回	1 5 3名
絵 画	前期		1 4名	1 4名	8回	9 2名
	後期		1 4名	1 1名	8回	6 8名
工 作	前期	1 部	6名	6名	8回	4 0名
		2 部	6名	6名	8回	4 1名
	後期	1 部	6名	6名	8回	3 4名
		2 部	6名	6名	8回	4 4名

(4) おでかけ児童館事業

児童館から遠方の公園・コミセンなどにスタッフが出向き遊びを提供しました。
NPO 法人てんぱくプレーパークの会と移動児童館「プレーパーク」を30回実施しました。また、文化小劇場との共催による子ども向け「たのしいクラウンショータイム」を実施しました。

事業名	場所	参加人数
おでかけ児童館 in 大坪(乳幼児への遊びの提供) 5/29	植田大坪公園	17名
クラウンショー(文化小劇場共催、小学生と保護者) 8/1	文化小劇場	282名
おでかけ児童館 in 相生(乳幼児への遊びの提供) 8/19	相生コミセン	27名
おでかけ児童館 in 植田(乳幼児への遊びの提供) 10/4	植田コミセン	7名
おでかけ児童館 in 大坪(乳幼児への遊びの提供) 10/30	植田大坪公園	23名
おでかけ児童館 in 八事東(乳幼児への遊びの提供) 12/10	八事東コミセン	18名
おでかけ児童館 in 平針南(乳幼児への遊びの提供) 12/13	平針南コミセン	24名
おでかけ児童館 in 表山(乳幼児への遊びの提供) 3/6	表山コミセン	32名
てんぱくプレーパーク(外遊びの機会を増やす)30回実施	天白公園	1,004名

(5) 天白福祉会館との合同事業(世代間交流の促進)

児童と高齢者が交流する「なつまつり」「お茶会」などを実施しました。

事業名	開催日	参加人数
夏野菜の植付け	4/19	26名
初夏の風〜フレッシュコンサート〜	6/29	44名
なつまつり	7/27	290名
チューリップを植えよう	10/24	22名
お茶会	3/29	57名

(6) 中学生の学習支援事業

ひとり親・生活保護や生活困窮家庭の中学生に、学習方法や学習習慣の定着を図り、確かな学力や進学意欲を醸成する学習支援を無料で実施しました。

中学生の学習支援(登録数)	実施回数	参加者数
19名(中1:5名, 中2:7名, 中3:7名)	104回	662名

(7) 高校生の学習継続支援事業

中学生の学習支援事業に参加した生徒が進学後に安定した高校生活を継続できるよう、自主学習の場を提供し、相談に応じる継続支援を無料で実施しました。

高校生等の継続支援(登録数)	実施回数	参加者数
11名(高1:7名, 高2:2名, 高3:2名)	104回	166名

(8) サービス向上委員会

子育て支援団体や関係機関等の代表者で構成するサービス向上委員会を開催しサービス向上に努めました。

第1回: 6月26日 第2回: 2月20日

VII 法人運営

1 理事会・評議員会

【理事会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第91回	令和6年6月6日	区役所	11名／15名	令和5年度事業報告・資金収支決算等
第92回	令和7年3月21日	区役所	10名／15名	令和7年度事業計画・資金収支予算等

【評議員会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第72回	令和6年6月24日	区役所	31名／42名	令和5年度事業報告・資金収支決算等
第73回	令和7年3月21日	区役所	31名／42名	令和7年度事業計画・資金収支予算等

VIII その他

1 天白区東部いきいき支援センター

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるように支援するため、平針南・平針・平針北・原・植田・植田南・植田北・植田東・しまだ・高坂・相生の11学区を圏域とする天白区東部いきいき支援センター・分室を運営しました。

【主な取り組み】

(1) 介護保険予防給付管理事業

要支援及び事業対象者と認定された方のケアプラン作成等を行いました。

	事業対象者	要支援1	要支援2
令和7年3月末給付管理ケース数（延数）	1,055件	3,146件	6,832件
（内訳）委託ケース（84事業所）	597件	1,658件	4,619件
（内訳）当センター直営ケース	458件	1,488件	2,213件

(2) 高齢者総合相談の実施

高齢者やその家族、地域の方からの保健・医療・福祉についての各種相談に応じています。

種 別	新規対象者数	相談内容内訳	延べ対応件数
介護関係	1,212件	6,519件	7,440件
医療関係		1,556件	
経済関係		257件	
対人関係		228件	
居住関係		756件	
権利擁護		220件	
その他		625件	
認知症		1,477件	

(3) 認知症の人への支援

認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を行うとともに、認知症の人を介護する家族を対象とした家族教室・家族サロン・もの忘れ相談医による専門相談などを実施しました。また、認知症サポーターの養成講座などを通じ、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを進めました。

実施事業	実施回数	延べ参加者数
家族教室	10回	60名
家族サロン	12回	98名
もの忘れ相談医による専門相談	12回	26名
認知症サポーター養成講座	12回	563名

(4) 高齢者の見守り支援事業

地域社会から孤立しているひとり暮らし高齢者等を対象に、地域住民、関係機関と連携しながら対象者の把握、個別の支援、地域のネットワークづくりを行いました。

	実績	備 考
対象者数(R7年3月末時点)	26名	
いきいきコール利用者	17名	週1回程度の電話訪問
延べ訪問件数	258件	
支援ネットワーク件数	45件	近隣住民による見守りネットワーク等

2 天白区介護保険事業所

名古屋市社会福祉協議会天白区介護保険事業所を事務所内に設置し、連携協力しながら居宅介護支援事業及び訪問介護事業を実施しました。

(1) 居宅介護支援事業（令和7年3月末現在）／ケアマネジャー6名

居宅介護支援給付管理件数	170件
市介護保険認定調査受託件数	50件（年間）

(2) 訪問介護事業（令和7年3月末現在）／サービス提供責任者7名

利用者数	315名
なごやかスタッフ	71名

事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書

令和6年度の事業報告に関して、定款第40条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書について、記載する事項（※）はありません。

※ 記載する事項…社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する
「事業報告の内容を補足する重要な事項」

社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会